

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 35
発行日 平成27年2月4日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種231点
鳥類:26種113点
爬虫類:9種67点
(平成27年1月末日現在)

ロバのドンが亡くなりました



平成27年1月10日、ロバのドンが老衰のため亡くなりました。夢見ヶ崎動物公園にはおよそ19年間、いてくれました。

「ドン」の名は、よく似ていたという先代のロバから引き継ぎました。当初はよく飼育員を噛んだり蹴ったりする暴れん坊だったそうです。この数年は年とともに穏やかになり、同時にがんこにもなってきましたが、容姿が逆に幼く見えるのか、「こどもですか?」とお客さんに聞かれることもありました。最近では蹄の状態が悪く、あまりたくさん歩かなくなっていました。食欲はずっと旺盛でした。

この動物園の大半の職員より先輩だったドン。職員にもお客さんにも愛されていました。今までドンをかわいがっていただき、ありがとうございました。

レッサーパンダのギンガが引っ越します。



アンとファファの第2子として2013年7月に生まれたパンダのギンガが、東京都大島公園へ、繁殖のため移動することになりました。お転婆なギンガですが、少し遠くの南の島でも元気にがんばってくれるよう、応援します!



▲ ときどきアクロバティックに穴から飛び出してくるプレーリードッグ

第 回 春の動物園まつりのお知らせ

- ★日時：平成27年3月22日(日) 午前10時～午後3時まで
- ★雨天中止
- ★バックヤードツアー、動物リレーガイド、シマウマ餌やり体験、動物ふれあいコーナー、野鳥クイズコーナー、竹細工コーナー、コンサートコーナーなど
- ★詳しくはホームページ・市政だより等をご覧ください。



★ピックアップ動物★

ラマ

哺乳綱 偶蹄目 ラクダ科



南米のアンデス山脈に住む家畜種で、ラクダの仲間です。こぶはありませんが、二つに分かれた上唇をもち、胃が3つに分かれている、交尾は座って行うなど、ラクダと似た特徴があります。

不機嫌な時や、威嚇の目的で「つばをはく」のが有名ですが、実際は唾だけではなく、第1胃の内容物をスプレー状に飛ばしており、まともにかかる1日においがとれません。

11月に当園に来たみのタイタンと♀のナンは性格がだいぶ異なります。タイタンはややマイペースながら穏やかな性格で、ナンは飼育員の行く手をさえぎって「とおせんぼ」したり、容赦ない唾攻撃をしてきたりと、少し気難し屋なところも。しかしなぜか攻撃されるのは作業着を着た飼育員のみです。

2頭ともお客さんが大好きで、お客さんが見ているとトコトコ駆け寄っていくこともしばしばです。また、興奮するとびよんびよん飛び跳ねる姿も見られます。

よくみるとグラウンドに土がむき出しになった道の様なものがありますが、これは2頭がウンチをする場所がなぜか毎日ごくわずかずつ、ずれている結果です。

人間では生死に結び付くほど深刻に思われていないこともある歯の疾患は、多くの動物にとっては食べることができなくなり、命にかかわることがしばしばあります。いわゆる虫歯だけでなく、歯の根元に炎症を起こしたり、そこから顎の骨に炎症が及んだりして膿がたまることもあります。実は、プレーリードッグの1頭は歯が悪くて今入院中です。彼ら切歯（人間でいう前歯）の伸びる角度がちょっと変になって噛み合わなくなり、互い違いにどんどん伸び続けて物が噛めなくなってしまったのです。うさぎやモルモットにも多い疾患です。臼歯（人間の奥歯）は噛み方の癖や普段の食べ物、遺伝的な要因によって変な伸び方になることがあり、切歯の場合は外から何らかの力を受けることで曲がってしまうといわれています。環境を変えることである程度再発は防止できますが、彼らの歯は一生伸び続けるので、場合によってはたびたび病院で歯を削る、一生のお付き合いとなることもあります。

さて、先日亡くなったロバのドンちゃんは、臼歯の一部がだいぶ摩耗してはいたものの、全体的な歯並びなどはきれいでした。亡くなる直前までちゃんと食べることができていた理由の一つだと思います。歯のある動物にとって、歯は食べること、つまり生きることと直結する大事な部位なのだと実感しました。

獣医の日記



★動物たちの主な移動(平成26年11月1日～平成27年1月31日)★

フサオマキザル(♂1搬出)、ラマ(♂1♀1搬入)、ロバ(♂1死亡)、インドクジャク(♀1死亡)、ヤギ(♀1死亡)